

科目区分	専門基礎分野	履修学年	1 年前期	単位数	1	時間数	30
科目名	解剖生理学 IV			担当教員	専任教員 外部講師		
使用テキスト	1) メディカ出版 人体の構造と機能 ①解剖生理学						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 目でみるからだのメカニズム 医学書院 2) 看護形態機能学 生活行動から見るからだ 日本看護協会出版 3) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能【1】解剖生理学 医学書院						
授業の概要と到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>本科目は、日常生活行動にかかわる食事(食べる)・排泄する(トイレに行く)・眠る(睡眠)・子供を産む(生殖・発生と老化のしくみ)の内容で構成する。「食べる」については基礎科目である栄養学や生化学・生物学を土台に学習し、食欲・食行動・咀嚼・嚥下・消化について学習する。排泄する(トイレに行く)では排尿行動・排便行動について学習する。眠る(睡眠)についてはサーカディアンリズム・レム睡眠とノンレム睡眠などの睡眠のメカニズムを学ぶ。最後に人間の性と生について、性を決定するしくみ・生殖系の構造・受精と胎児の発生を学ぶ。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間は、「食べる」という日常生活行動を体のどの器官を使い、どのように機能しているか理解できる。 2. 「食べる」に関わる肝臓・膵臓・胆嚢のはたらきが理解できる。 3. 人間は、「トイレに行く」という日常生活行動を体のどの器官を使い、どのように機能しているか理解できる。 4. 睡眠のメカニズムについて理解できる。 5. 人間の性と生のしくみを理解できる。 							
評価方法	筆記試験 提出物						
備考	関連科目：自然科学(生物学),生化学,生命倫理						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	栄養の消化と吸収	外部講師
2	口・咽頭・食道の構造と機能	
3	腹部消化管の構造と機能	
4	胃・小腸・大腸の構造と機能、栄養素の消化と吸収	
5	膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 門脈、解毒・排泄機能、胆汁産生、貯蔵機能、胎児の造血機能 腹膜 腹膜と腸間膜、腹膜と内臓の位置関係、胃の周辺の間膜	
6	体液の調節と尿の生成	外部講師
7	腎臓	
8	腎臓の構造と機能、糸球体の構造と機能、尿細管の構造と機能	
9	傍糸球体装置、クリアランスと糸球体濾過量、腎臓から分泌される生理	
10	活性物質(エリスロポエチン、ビタミンDの活性化) 排尿路 排尿路の構造、尿の貯蔵と排尿、 体液の調節 水の出納、脱水、電解質の異常、酸塩基平衡	
11	生殖・発生と老化のしくみ	外部講師
12	男性生殖器 (精巣、精路と付属生殖腺、外陰部、生殖機能) 女性生殖器 (卵巣、卵管・子宮・膣、外陰部と会陰、乳腺、生殖機能) 受精と胎児の発生 (生殖細胞と受精、初期発生と着床、胎児と胎盤)	
13	眠る	専任教員
14	サーカディアンリズム基礎的な休息・活動周期 睡眠と体温と各種ホルモン分泌の関連 睡眠の生理 睡眠のメカニズム・レム睡眠とノンレム睡眠 睡眠と生活・環境の関連	
15	終講試験 まとめ解説	